



図書館って何するところ？

私には村上龍という大好きな小説家があります。高校生のとき参考書を探しに本屋に行った際、何となく表紙とタイトルに目を引かれ手に取りました。以来、彼の本をコレクトするようになり、図書館スタッフを始めたきっかけも彼の本が関係しています。

滋賀大学の図書館には勿論専門書が多く並べられていますが、図書館の使い道はそれだけではありません。ドラマ化された話題の小説や、文庫も豊富に取り揃えられており、もしかしたら私のようにお気に入りの1冊に出会えるかもしれません。さらに個別ブースだけでなく、PCルームや集団で話し合えるブースも設置しており、レポートの作成や試験前の教え合いにも活用できます。

このように図書館は単に本の貸し借りをするだけの場ではなく、多様な利用方法があります。勿論冷暖房も完璧なのでファッション雑誌を読みつつホッと一息するのも良いですね。是非図書館を有効活用してみてください。

星山 斐香 経済学部4回生

意外と知らない

図書館のこと

皆さんは図書館の本に貼られているラベルをご存知でしょうか。あれは請求記号といって、主題など本の情報がまとめられています。例えば「420は物理学」、「375は学習指導」といった具合に、請求記号を見れば、その本のことを大体理解することができます。図書館の本は請求記号の順番に並んでいて、本を探すときにも便利です。

私は請求記号の分類を知り興味を持ちました。調べるうちにその便利さも実感しました。今では番号を予想しながら本を探すことが楽しみの一つです。

蔵書は、図書館のパソコンやスマホから検索できますが、「置いてないと思ったら本館の図書だった!」「普通の大きさだと思ったら、広辞苑みたいなサイズだった!」なんてことも。蔵書検索では、タイトルの他に所在や大きさなどが分かります。そういう項目にも目を向けてみて下さい。

他にも、図書館には知っていると便利なことが意外とあります。皆さんも一度調べてみてはいかがでしょうか。

富田 真基 教育学部3回生

